

わがまち

すこめ

発行 わがまち大田馬込地区推進委員会
事務局 馬 込 特 別 出 張 所
大田区中馬込3-25-5
☎ (3774) 3301 (代)



写真提供 尾崎賢次氏

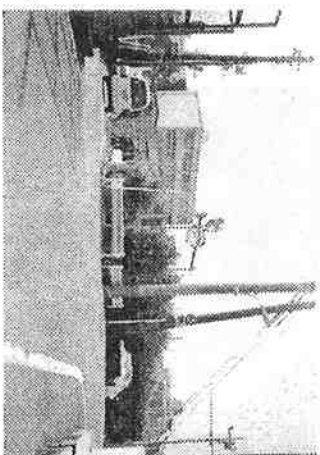
“馬込の坂は登って下る。”

古道「南坂」と「二本木坂」

JR大森駅の山王北口の近くに、山王様と呼ばれる日枝神社があります。

その境内に「左まごめ道」「右なかのぶ道、めぐろ道」と刻んだ庚申塔(文政二年¹⁸²⁰)があります。

これにより、昔からの道が品川―大井―新井宿(山



(上図は最近の写真)

王のあたり)から馬込に続いていた様子がわかります。

馬込の中心は、今の馬込小学校のあたりで、村(町)役場、郵便局、駐在所(交番)などが集まっています。

もちろん馬込の総鎮守の馬込八幡様もここにありますが、その八幡様の南側にある坂だから、土地の人は昔からこの坂を「南坂」と呼んでいました。この坂道が品川―大井から馬込、根方をへて多摩川の「丸子の渡し」に通じる古い坂道なのです。

今は道巾も広くなりましたが、昭和の初め頃までは道巾一間(約2m)の荷車がやっと通れる程のせまい急な坂だったそうです。

坂の途中の長遠寺の裏には「長遠寺貝塚」と呼ばれた貝塚があったことから、坂のまわりには縄文時代から人が住んでいたといわれています。

第一京浜国道を渡ると右側に地下鉄の修理工場があります。その正門前の細長い植込みは、寺郷(馬込第三小近く)の湧水を水源とする旧内川で、今は暗渠になりましたが、桜まつりの行われる桜並木に続いています。

二本木坂という名前は、宮の下の子であった「二本木」から取ったものですが、かつては名前のとおり「イチョウ」か「シイ」か「クス」の大木が天高くそびえ立っていたことでしょう。

しかし今はもうその大木を見たという人も、記録も何もありません。

二本木坂あたりの南斜面にも、奈良時代以前から人々が多く住んでいたよ

うです。

昭和9年頃の耕地整理や、昭和11年の二国の工事のときに、横穴古墳が多数発見され、180体もの古い人骨が発掘されましたが、近くの閻魔堂に無縁霊位の碑を建て、手厚く葬られました。

二本木坂は、新幹線の線路をまたいだ「二本木橋」をへて根方大山詣、富士講中の村人たちが、八幡様に道中安全を願って南坂、二本木坂を通って旅立ったのは江戸時代のことです。

二本木橋の上は、馬込でも数少なくなつた、富士山の良く見える場所の一つになっています。

(上図は昭和35年頃、二本木橋から今の南校あたりを見た写真)



俳句

減反に負けず日暮れの田植えかな
朝霧をひらいてすすむ渡し舟

南馬込一 永山 和枝
文士村たどるしるべに隣る秋

南馬込一 森岡 達吾
立山の切り立つ岩に草もみじ

つゆ草会 村上 知子
銀河濃し星降る国と思ひけり

つゆ草会 坪井 教子
山里の湯宿の夜長姉と居り

つゆ草会 牧田誠津子
姉すだれ影おく雨戸閉めてをり

つゆ草会 沢根 沢子
夕闇が人ふくらませ盆おどり

短歌

遙けきを望みて若き僧ひとり
秋本門寺の高殿の廊

和泉会 篠田 道子
野性馬を追い込みしう馬込村

丘と湿地にビル建ち並ぶ
和泉会 藤村 誠之

街角の枝折りをたよりに散歩する
古きをしのぶ馬込町あたり

和泉会 林 とみ子
孫連れて品鶴線に手を振りしに

今はスピートの「のぞみ」の走る
今ハズビートの「のぞみ」の走る

川柳

川柳遊芳会
推理本談を解く気がめり込み

一大事鍵を忘れて部屋出る
防犯に空き巣の手口披露され

馬込文士村 大桜まつりの後日談

明宝村交流会

このたび、はからずも西野区長の口ききで、名馬磨墨とえにしのある岐阜県明宝村と交流を持つことになりました。

4月2日の大桜まつりには、明宝村から磨墨太鼓の御一行が演奏

にかけつけてくださいました。

5月3日には、明宝村で行われた名馬磨墨の生誕祭並に磨墨顕彰会総会への招待を受け、区長代理田崎正孝助役、馬込出張所内田信義所長、連合会から高山会長外7名、商店会連合会睦会須恵会長計11名で明宝村を訪問しました。

岐阜羽島駅で清水市からの招待者(清水市にも磨墨伝説あり)と共に明宝村差廻しのバスで、教育委員会角治恵門教育長の出迎えをうけ、約90軒離れた標高差千二百

米の明宝村(大田区の三倍の面積に三千分の一人人口)全部を案内されました。

明宝村で磨墨といえば神様のよ

うなものです。磨墨にちなんだ各種の催物が盛んに行われ、村の予算の多くが磨墨、梶原と縁のある所との交流会費として計上されています。磨墨の名にのせて村のPRに

とつとめ、観光客の誘致に役立っているようです。

磨墨生誕祭並に磨墨顕彰会総会

は村を上げてのおまつりで、磨墨大鼓で餅つき踊り、民謡踊りと合

戦の場の磨墨太鼓の披露と盛会で

した(馬込地区自治会連合会高山

会長に伺ったお話をまとめました)

馬込の消防署



馬込の消防署（大森消防署馬込出張所）は、昭和11年3月に大森消防署馬込機関員派出所として設置されました。

現在の建物は、昭和39年4月に改築落成したものです。望楼からは馬込全域はもろろん、都心から横浜方面まで見渡せました。電話の普及により、望楼からの巡回監視は今も行われていますが、地震などの災害時には、ここから無線で火災現場を指示できる体制がとられているそうです。

消防署の役割

まず、火災の消火とその火災原因の調査があります。この調査は過失を追及するものではなく、以後、火災が起きないようにするための目的で行われます。以前、テレビから自然発火した例がありました。過去に例のない出火原因を明らかにすることも火災予防のため重要なことです。

次に、火災予防のための建物の調査や危険物の検査などがあります。図面・書類での審査、現状の検査などいろいろです。都民指導も大切な仕事です。初期消火や正しい通報のしかたや、お店のお客さんなどの避難誘導、人工呼吸等の応急救護法の指導に

もあたります。

そして消火と並ぶ重要な仕事がある活動です。現在、一日に平均8回位の出動要請（一九番通報による）があります。多い時には13回、少ない時でも6回位になるそうです。最近、救急車の中で、ある程度の医療処置ができる救急救命士の同乗体制が整えられつつあります。取得に半年ほどかかるこの国家資格を持つ救急隊員が、馬込の救急車にはいつも乗っています。尊い人命を救う、頼もしい方々です。

人命救助は火災時でも最重要事項とされています。逃げ遅れた人の救助を優先的にこなう救助指定の中隊という隊があって、消火は他の消防隊にまかせ、建物の中に入って救助活動をする任務を与えられています。

最近の火災原因

最近火災が燃えにくい構造になっただけ、昔に比べ火事も少なくなりました。ただ、放火が大森署管内でも非常に多いそうです。家のまわりには燃えやすいものを置かないよう心がけましょう。また、タバコによる火災も、あいかわらず多いそうです。タバコの投げ捨てや寝タバコはやめましょう。

火が出てしまったら

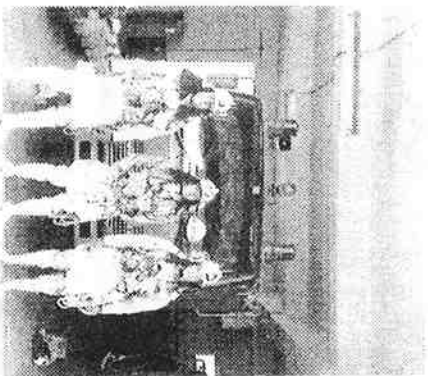
天ぷら鍋による火災が最近急増しているそうです。朝、お弁当のフライを揚げながら子どもを起こしに二階へ上がり、下りてくると台所が火の海となっていた。電話に出ている間に出火したなど、恐ろしい事例があります。火から離れる時は一度火を止めること。油の温度が下がってしまい、手間がかかってでも、家一軒燃してしまうよりはずっと良いでしょう。

早く通報することが大事です。

できれば初期消火を。通報の際は場所を正確に。現場が通りの反対側で地番が違うのに、自宅の住所を、それも不完全に伝えてしまつた例がありました。住所は○番○号まで正確に、目標も入れるとわかりやすい通報となります。

消防車が出動しても、消火栓のそばに駐車違反車があると、消火活動ができません。路上でも車が止っていると、大型のはしこ車は通れなくなります。防災の日、消防の方々のご苦勞を考えながら、もう一度私たちのまわりを見直してみませんか。

（馬込消防出張所司令桶の大和主任、伊藤主任のお二人に、お話を伺ってまとめました。）



馬込情報

◎ 馬込のお祭り

馬込の総鎮守、八幡神社の例大祭が今年も盛大に行われます。

10日ー宵宮祭、11日ー大祭

その他、北野神社、熊野神社、

西二稲荷神社、天祖神社等、また

各町会でも、いろいろな催しを用

意されています。

◎ 第十一回区民スポーツまつり

10月10日(月)大田区体育館

恒例の地区対抗綱引きに、馬込

チームも出場、応援しましょう。

あなたも綱引きにチャレンジし

てみませんか。随時選手を募集。

◎ 第六回馬込ふるさとめぐり

青少年対主催の「馬込ふるさとめ

ぐり」が11月20日馬込第二小学校

を中心に行われる予定（8時30分

集合）お子さんたちには、帰って

から楽しい「ミニガーデン」が

待っています。

◎ 区政功労者表彰

昭和22年3月15日大田区誕生。

その記念日に区政の進展に尽力、

区民生活向上に貢献した方等が表

彰されます。平成5年度区政功労

者馬込在住の方は次の方々です。

保坂久代、松平満、黒崎和夫、

平林淳宏、鈴木邦弘、羽石文、加

藤繁、菅嶋貢、高瀬庄三、高山信

明、橋本登、紋谷宏、福島秀夫

◎ 町会長の交代

新年度になって次の三町会長が変わりました。

馬込二本木町会(前)波田野八百作(前)加藤鎌吉

北野町会 (前)落合公明 (前)松村 一市

寺郷町会 (新)加藤富保 (前)永井 晃

◎ 痴漢に注意

刃物を使用した強制わいせつ事

件が、最近発生しています。

犯人は、女性に刃物を突き付け

わいせつ行為をして逃走。

暗がりの一人歩き、夜間の外出

はできるだけ避け、声をかけられ

たり被害にあつた時は、大声を出

して助けを求めたために一一〇番

を。(池上警察署からのお願い)

◎ 馬込の半白きゅーり後日談

11号で馬込のきゅーりの里親を

募集し、何人かの応募者がありま

したが、今年は苗の成育が悪く見

送りとなり申し受けありません。

11号の記事により、馬込でまだ

何人か半白きゅーりを作っている

方がいるのがわかりました。

◎ まごめ幸福祭(第二回)

地域の皆さんとのふれあいと理

解が深まるよう楽しい企画を用意

してお待ちしております。

日時11月25日(日)AM10~PM3

内容11アトラクション、模擬店、

作業公開、その他

問い合わせ先、会場1社会福祉法

人大田幸福会、まごめ園

(馬込2-1-19 ☎ 9713-0777)

編集後記

去年は冷害、今年は雨不足。米

の出来は大丈夫だろうか？

50年前は、いもやとうもろこし

はては馬の飼料の大豆粕ま

で人間は食べた。

銀しゃりを腹一杯たべた

夢を見たものだ。

豊かな生活にすっかりな

れてしまったが、考えさせ

られる今日このごろだ。